

「新常態」下の 中国社会経済の フロンティア

【開催趣旨】

減速局面に入った中国の経済と社会は大きな転換期を迎えており、そのインパクトと行方について世界が注目しています。この度、北京大学経済学院と教育研究交流協定を締結した愛知大学ICCSは、北京大学教授陣を迎え、昨年の北京大学での開催に続き、3回目の共同開催の国際ワークショップを開く運びになりました。中国社会経済の変動とフロンティアとなる諸課題を分析していきます。ふるって皆様のご参加をお待ちしております。

2015.10.10(土)

14:00-17:00

愛知大学名古屋キャンパス

厚生棟3階W31・W32

一般公開・申込必要・日中通訳有
先着順・定員60名

第1部 基調講演

高橋 五郎 愛知大学現代中国学部教授・ICCS所長 中国金融市場の新常態－低金利下の債券市場－

周 建波 北京大学教授・愛知大学ICCS訪問教授 経済史の視点からみた中国の工業化と産業高度化の諸課題

《司会》 田中 英武 愛知大学経営学部教授・ICCS運営委員

第2部 研究報告

杜 麗群 北京大学経済学院教授 “新常態”下における中国経済の成長モデルの選択

李 春利 愛知大学経済学部教授・ICCS運営委員 “メイド・イン・チャイナ2025”とイノベーション

張 亜光 北京大学経済学院副教授 中国の“一帯一路”戦略と東アジア関係

《司会》 大澤 正治 愛知大学経済学部教授・ICCS運営委員

お申込み/お問い合わせ

愛知大学国際中国学研究センター（ICCS）事務室

〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60番6

TEL:052-564-6120 FAX:052-564-6220

URL:<http://iccs.aichi-u.ac.jp/> E-MAIL:iccs-sympo@ml.aichi-u.ac.jp

※申込方法:氏名(フリガナ)、所属、電話、emailアドレスをご記入の上、EメールまたはFAXでお申込みください(書式任意)。